

すまいるん

済生会熊本福祉センター通信

理念	一人ひとりを尊重し、 共に生きる社会の実現をめざします。
基本方針	・ライフステージに応じた自立を支援します。 ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。 ・利用者主体の福祉を実践します。
就労継続支援A型・B型 済生会かがやき	児童発達支援センター 済生会なでしこ園
就労継続支援B型・生活介護 済生会ほほえみ	幼保連携型 認定こども園 済生会しらふじ子ども園
就労継続支援A型・B型 済生会ウィズ	相談支援 済生会熊本福祉相談支援センター
共同生活援助 済生会グループホーム事業所	熊本県地域生活定着支援センター

◆ 新年のご挨拶 ◆

2025年1月

希望の2025年となりました。輝ける年とすべく関係者各位の皆様におかれましては心新たに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。今年こそコロナ禍から解放されスムーズな事業運営が出来ますように皆様と共に精進したいと思えます。宜しくお願い致します。

さて、皆様のお陰をもちまして当センターの開設20周年事業も順調に進捗致しました。節目の20周年に合わせたウイズ食品加工棟の新築(2024年3月竣工)、クリーニング工場設備全面更新・改修(2024年7月1日着工、2025年3月竣工予定)、記念グッズの作成、20周年フェア秋祭りinうちだまちの開催(2024年11月9日)、しらふじ子ども園主催による歯科医師の講演会開催(2024年11月16日)、福祉センター紹介動画・20周年記念誌(11月13日完成)、そして10月1日から80日間に亘ってクリーニング工場クラウドファンディングへ挑戦(2024年12月20日完了)し、目標の500万円を達成致しました。

また、新年が明けてからは全国済生会潮谷会長、本部炭谷理事長、熊本県知事、熊本市長他関係先約100名をご招待しての20周年記念式典を開催(2025年1月18日ホテル日航熊本)しております。全て滞りなく完了若しくは進捗しているところです。これらイベントを行うに当たっては済生会

本部、支部、熊本病院、みすみ病院を初めとして利用者、利用者ご家族、関係先等全てのステークホルダーに大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

特にクラウドファンディングにおきましては、熊本病院、みすみ病院の現役職員の方や職員OB、関係先、地域の方々など広くご寄付いただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。同時に改めて済生会の組織の大きさ、つながりの強さ、皆さんのやさしさを感じているところです。職員一同この御芳志を心に刻み質の高いクリーニング事業にすることをお誓い申し上げる次第です。引き続き今後の事業をご支援頂ければ幸いです。

最後に20周年を第三の創業と位置付けて様々な取り組みを「共に未来へ」というキャッチフレーズの下に進めて参りました。そして、2025年度の運営基本方針を下記の通りとしました。キーワードは、「やってみよう」として常にポジティブな気持ちで運営したいと思えます。幸い8事業所とも人材が育ち、新入職員もほぼ計画通りに採用できています。共に力を合わせて未来へ向けて人も組織も成長できるように取り組んで参ります。

済生会
熊本福祉センター
所長
宮川 栄助



2025年度 運営基本方針

Key Word
やってみよう

業務改善

- 1.仕事のやり方をゼロベースで見直し、目的に適した手段を選択する。
- 2.属人化から脱却し、誰でも同じ成果が創出できる仕組みを考える。

5S・標準化・可視化

連携協働

- 1.事業所間の交流を増やし、多機能センターとして強みを発揮する。
- 2.地域活動に積極的に参画し、済生会の役割をより全うする。

横断的・利他・他者理解

安定経営

- 1.各事業所にて設定している利用者定員充足率100%を達成する。
- 2.センター及び事業所単位でのサービス活動収支の黒字化を目指す。

生産性向上・利用者獲得

20th Anniversary Event

済生会熊本福祉センター 20周年記念講演会

2024
11/16

- 会場／済生会熊本病院がんセンター4階 コンベンションホール
- 主催／しらふじ子ども園

〈講師〉生田歯科医院 藤原 康生 先生

11月16日(土)済生会熊本病院外来がん治療センター4階のコンベンションホールにおいて、記念講演会を行いました。天草にあります「生田歯科医院」の藤原康生先生を講師にお招きし「嚙む(哺乳)から始まる子どもの未来」～0歳からの口腔調査から判明した不正咬合の原因と対策～というテーマでご講話を頂きました。

感受性期についての話があり、一生に一度しか来ない、脳や体が最も成長する期間だそうです。視力の感受性期は0～2歳など、それぞれの神経発達にはそれぞれの時期があり、その時期

を逃すと、その後の成長は見込めないという大事な時期だそうです。

参加された方々のアンケートでは、「知らないことばかりで、衝撃的でした。」や「もっと早く知りたかったです。」、「今、ちょうど母乳育児をしていて、このタイミングでこの話を聞くことができて良かったです。上の子のためにも、カレーの野菜は後乗せにしようと思いました。」など、たくさんの感想を頂きました。



アビリンピック全国大会

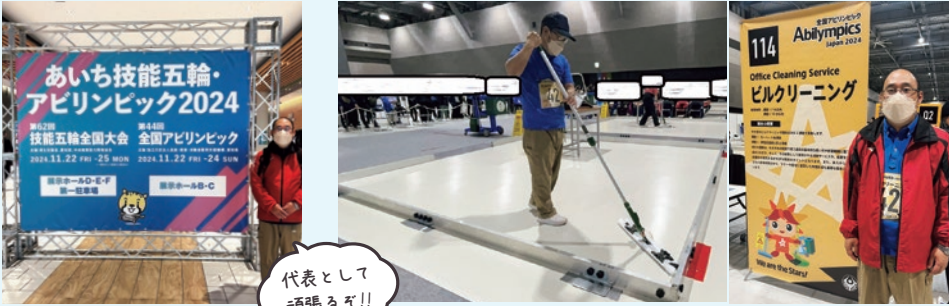
●日時:2024.11/22-24 ●会場:愛知県国際展示場

済生会かがやき

済生会かがやきA型従業員の高松宏至さんが、熊本県代表として、第44回全国アビリンピックin愛知に出場されました。

昨年同様に、大会間近まで昨年度の全国大会の映像を観たり、ビルクリーニング課題(弾性床清掃・カーペット清掃・テーブル拭き)の実践練習を頑張りました。

当日の大会結果として、入賞することはできませんでしたが、制限時間をクリアされ、作業の流れについても昨年よりスキルアップされている状態がみられていました。来年もかがやきメンバーから全国大会出場を目標に、チーム全体で頑張っていきます。



代表として頑張るぞ!!

忘年会

●日時:2024.12/21 ●会場:料亭 さかもと屋



済生会ほほえみ

12月21日(土)に松橋にある「料亭 さかもと屋」さんで忘年会を行いました。

当日は実行委員の利用者さんがサンタやトナカイの装飾をつけて司会進行されました。余興では、実行委員がプロジェクターを使って、日頃使っている物を映し出してシルエットクイズをしました。みんな日頃使っている物でもシルエットで見ることはないので、悩みながら正解を導きだしていました。カラオケでは、歌っている人の傍や食事席の周りでノリノリのダンスで大盛り上がりでした。皆さん楽しく会話しながら美味しいお食事を食べ、お腹も心も満腹になりました。

1年間の労をねぎらって、最後にはお楽しみのプレゼントを受け取り、満面の笑顔を見せられる利用者さん。その笑顔を見て私たちもとても嬉しく思いました。来年も利用者の皆さんと明るく楽しく過ごしたいと思います。



みんな笑顔で楽しい時間を過ごしました!!

皆様の温かいご支援ありがとうございました

プロジェクト終了のお礼

済生会ウイズ

クラウドファンディング「障がい者の方に働く場所をこの先も、クリーニング工場の新たな挑戦」に対し、温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。

多くのご寄付のおかげで、利用者の方々にとってよりよい職場環境を整えることができ、利用者ならびに職員一同、心より感謝いたしております。

4月から新たな工場での稼働となりますが、引き続き済生会ウイズのクリーニング事業をよろしく願いいたします。



くまもと障がい者芸術展

●日時:2024./11/12~17 ●会場:熊本県立美術館分館

済生会グループホーム

11月12日~11月17日に熊本県立美術館分館にて『くまもと障がい者芸術展』が開催され、グループホーム事業所より5名の方が出展されました。時間をかけて、心のこもった作品を作り上げられました。その甲斐あって、見学者より好評をいただくことができました。

また出展された5名の方は実際に会場で自分の作品・他者の作品を見て回られ、次年度の展覧に向けて「今度はこういうのを作りたいなあ」と新たな意欲を持たれる良い機会となりました。



来場者も作品のできに感動!!



オータムパーティー

●日時:2024.10/26 ●会場:なでしこ園



済生会なでしこ園



気分はプリンセス!!

会場は大盛り上がり!!

10月26日(土)、なでしこ園ではオータムパーティーを開催しました。ここ数年はコロナの関係もあってクラスを分散して開催していましたが、今年度は久しぶりに全クラス同時開催!にぎやかな声が園内に響き渡っていました。

今回は盛り上がっていたコーナーの中から“ファッションショー”をご紹介!ハロウィンの時期のお祭りが定着してきたこともあり、たくさん子どもたち(時には保護者の方も!)が仮装して参加してくれています。ファッションショーでは、前に出て衣装をご紹介…。緊張の様子でインタビューに答えたり、参加賞のお菓みに夢中だったり、お友だちの様子をじーっと見つめたりと、思い思いに楽しんでいましたよ。

地域の方々やボランティアさん、済生会ほほえみの方々のご協力もあって、今年度のオータムパーティーも大盛況のうちに幕を閉じることができました。

親睦会

●日時:2024.11/8 ●会場:江津湖

熊本県地域生活定着支援センター

熊本県地域生活定着支援センターでは、11月8日に親睦会として、単身生活の対象者の方達を招いてバーベキューを開催しました。

今年は8名の方が参加されました。はじめのうちは緊張もあってか、離れた場所にぼつぼつと座られていましたが、次第に打ち解けて最後はみなさん笑顔で帰られました。単身生活を営んでいると他者と会話をしながら食事をする機会がなかなかありません。年末にかけて寂しさが募りやすい時期ではありますが、この取り組みが寂しさの解消につながることを願っています。

また、親睦会開催にあたりご協力を頂きましたみなさんに深く感謝申し上げます。これからも支援対象者の方たちが社会のなかで孤立してしまわないように、より一層支援業務に力を入れていきたいと思っております。



編集後記

広報委員会 満 永

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。広報委員会におきましても、済生会熊本福祉センター開設20周年の記事を昨年より多数掲載してきました。今年は広報誌「すまいるん」のレイアウトも一新し、引き続き情報発信を行っていききたいと思いますので、よろしくお願いします。

発行所 / 済生会熊本福祉センター
発行責任者 / 宮川 栄助
編集 / 広報委員会
(委員長 五瀬 浩)

https://www.sk-fukushi.jp/
熊本市南区内田町3560-1 TEL.096-223-3330 FAX.096-223-3429

